

2015 年 8 月 20 日

株式会社ゼンリン

ゲーム開発者向けカンファレンス『CEDEC2015』に出展 「3D 都市モデルデータ」と位置情報を連携する活用例を参考出展

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山 善司、以下 ゼンリン)は、2015 年 8 月 26 日(水)~28 日(金)まで、パシフィコ横浜で開催される日本最大級のゲーム開発者向けカンファレンス『コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレンス 2015(CEDEC2015)』に出展します。ゼンリンブースでは、リアルな街を再現した「3D 都市モデルデータ」と、位置情報の連携によって「3D 都市モデルデータ」の利用用途を広げる「Unity 向け GPS-API 連携プラグイン^(※1)」の活用例を参考出展します。



▲昨年の「CEDEC2014」の様子。3D 都市モデルデータを使ったデモゲームを展示。

主な出展内容

■「3D 都市モデルデータ」と位置情報を連携する活用例

リアルな街を再現した「3D 都市モデルデータ」に、現在開発中の GPS や施設検索、ルート検索などの位置情報との連携を可能にする「Unity 向け GPS-API 連携プラグイン」を組み込んだ活用例を展示。「3D 都市モデルデータ」の機能を拡張することで、位置情報を活用したシミュレーションなどの開発が可能になる事例として紹介します。

・活用例として「VR 型バーチャルウォーキング」を展示

東京タワー周辺の 3D 都市モデルデータを舞台に、VR^(※2)に特化したヘッドマウントディスプレイ「オキュラスリフト」とジェスチャー・音声認識デバイス「Kinect」を使い、実際に街を歩いているかのような感覚で、バーチャルウォーキングができます。

■ イベント概要

名 称	コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレンス 2015 (CEDEC2015)		
会 場	パシフィコ横浜 会議センター (横浜市西区みなとみらい)		
会 期	2015 年 8 月 26 日(水)~28 日(金)	WEB	http://cedec.cesa.or.jp/2015/index.html

※1: プラグイン=ソフトウェアに追加することで機能を拡張できるプログラム。

※2: VR=Virtual Reality。仮想現実。CG や音響効果を組み合わせて、人工的に体験可能な現実感をつくり出す技術。

※: 記載されている社名、商品名は、各社の登録商標、または商標です。